il 元 月 節 -奉 祝 H 大 後 舞 踏 力 會 .時 Ze. 华

催

野回

南回

店◎に

御円命下さい

包二五一番

よ

9

御學學

贈

答

品品

14

W

TH

Ŋ

定 價 一载 金三輪 化二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十三十二二十二十二二十二二十二二二十二三〇〇冊 發行人 十 河 榮 忠 總國人 松 本 男印刷人 谷 唇二郎

中谷時計店

常括三八五四

(競型)(書)

A

本橋近歸前

凱.

電三八〇六番 三一签町二丁目十七

舞 踏 會

節奉祝 大舞階會を催 日午後 七時 よ 9 しま 紀

京 京日本橋詰 會 館

電話三七三七番

したから一時も早くお求め下さい 「スターシュース」 これこそ理想の防寒靴です澤山着きま 新京吉程四二丁目 廣春洋行 福間三〇正二番

サツポロ

唸を生じて大評判

不况を外に大發展

慢かば焼トどんぶり

三笠町二丁目

京

舞食道米

金泰洋行

到着

市 配達は飛行式 場 日華洋行へ 電話三三四三番 0 貨 は

食料品と

萬能七輪 電氣コタッ 僅かの電気料で御飯が美味しく炊せる 文化『かまざ』と保熱釜

其他常熱器各種多數

電氣の店 和登洋行



13、平護職略島は南京政府より取録輸送の命を受り助員準備に若手した、之れがため腹客列車は全然不規則一、蔣介石は鄭州に自己の直系軍祭二第11節を待機せしめた一、南京政府は全力を以つて抗日政策機艘を決議し、毎月二百萬元を學良に對し特別支出するこささなつた〔季天十日最鬱遁〕南京政府は参々日本軍さの徹底的抗争を決怠し、後然積權的に活動を開給した 俄然積極行動開始

横瞰路局は南京政府より取録輸送の命を受り動員準備に若手した。之れがため腹容列率は全然不規則さなつ

河南省の開封。洛陽其他の主要節でに於ては市鷲部の援助を受け抗日運動が活潑さなつた

熱河問題に關

話の形式でたの如き壁明を 陸軍當局重大聲明 **聯盟の一部で物調を醸して居るが、** 右に飲いて常品では

ある、事良は物質不足の地に多数軍隊を移駐せしめた結果、内訌さ掠奪さの模擬状態つたなら問題は容易に片付き、平和的に解決したであらうさいふ事質を想起する必が、熱河問題を観察するに富り、世人は若し、嬰良か熱河に積極的抗日準値を積めなか、熱河問題と山海間問題さは判然展別して考へねばならね、熱河問題と山海間問題さは判然展別して考へねばならね。漁河間の平和的建校の第一階程は、治安秩序の確立で、此の階程は驚くべき速度で、満掘頭の平和的建校の第一階程は、治安秩序の確立で、此の階程は驚くべき速度で、満掘頭の平和的建校の第一階程は、治安秩序の確立で、此の階程は驚くべき速度で、

印度西部副境の蠻族に對し、又フランス軍がアルゼリアの不逞分子に對し彈壓を加へ手段を探るのは遠州國主権の發動で、聯盟に何の氣象ねが翌るものか、恰も英國軍がのださの解釋が流布ぜられたが、飯じて左樣の事ではなく。國内の治安維持に必要の、世上終河の治安恢復は會つて我調が聯盟に對して層保した匪賊討伐確を行使するも

猫洲襲線の途に就く管である 海に於て大倉を開催するが。 海に於て大倉を開催するが。

凌顔に移動すべく行動を開始 する抗日所編単一師は熱河省 中の舊西北軍沈克を總司令さ

夜源に移動開始

亡人朱慶齢は、元交補部長陳した情報によれば故孫文の未

ライザール氏、フランスより シナイフヒ博士、米間よりド

廿夕詞に招待訳を發したが、

が軍部ではその成り行き

國際反帝同盟を組織

少以府極度に憤慨

重ねて我確信を通告

せねば

る類定である

發表

の非禮を

三月下旬上海で大會を開催

H

南京政府が 湯玉麟に軍機を輸送

した、尚一月中に南京政府よ 勇軍雞軍には軍衣一萬二千箸規罪を熱河民衆自衛軍さ改稱 門。その他熱河省内にある莪この程自己の貞素傍系の各主 銃八挺で同柱。以追擊砲百萬番、機關 外套一萬五千着か支給されて

教 終ける鑛山の採場様を許容され、消敷設の優先権 内内外票古に の反對給材さして蒙古兵の騎 を執るに至つたか最近に至り 良の絲に操られ一度反演對度 島際に業しむ良民の姿に奪む も熟河軍第十旅長石文華は事 熱河に來つた東北軍(傷男軍の ののでは、一般のでは、一般のである。 ののでは、一般のでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のである。 ののでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のである。 ののでは、一般のでは、一

學良軍3階割中

成行き注目さる

は 側の第十九路軍の一部五白は に最後まで皇軍を悩ました。 に最後まで皇軍を悩ました。

九ヶ河委員會は九日左の加き

コンミュニケを検表した

十九夕阙委員會は年前の會

コンミユニケ發表

寨に進出

儿國委員會

する軍器品の譲渡方を要求し 馬除十二ケ節を編成するに要 た人ので既に関印を丁した模

熱河に對する

様である

關東軍の態度

關東軍司令部幕僚談

満洲を感じる

(五)

西施、若しよく吳嶼を亡後すり、吳人狂」して西旛を怨む

朝鮮總督府事務官

云ふべき事を含ひ物して居る 一点に終ては今命執物に測に関して 一個国を氣に病んで居るが、 我同国を氣に病んで居るが、 我

雷時の宣言に徹しても、間原 作で致へて他詞の容喙を許す 件で致へて他詞の容喙を許す がき紡台のものではない。従 べき紡台のものではない。従

の方針に依つて邁進す

一笑した。一生命もすて

炎を同にしては、心自ら閑な単の大人が、愛見をみやす容

東北大戸。兵工廠、北大警傍れる」で云ふのを思い出した

跡。東北大銀電台縣

さきは越 亡ふら時又是わ

は した跡に、不鼓の僧頭やら爆 がいる博物館、野良邸等 を見。娘壁の大なるを仰き、 を見。娘壁の大なるを仰き、

無流の工台いか良いさ見えて 高度三百乃至三百五十米突で 動揺もなく。一直線に飛ふ、 右の方にに丘腔かあるが、た の方は一壁砂の如き大平原、 住路、美ましいまでに屈曲の

開で委員官が十二月十五日和協手額さの可能性がある なたお案及び聞長官言案に したお案及び聞長官言案に したお案及び聞長官言案に が行い、 ない新提案を考慮した、 ない新提案を考慮した、 ない新提案を考慮した、 ない新提案を考慮した。 ない新規等の可能性がある。 はいる。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。

を眺めては、張孝良の麾下 の練具場跡。東北大無

教れる感慨深いといがあり、

に発陸した。 に発陸した。 に発陸した。 に発陸した。

新京侃行場

航空時間僅かに一時間を列十

日支關係は 孫文の未上

昨八日夜之を否定して左の如「上海九日麓國際」羅女幹。 許さな

直接折衝を

十名の賞美が掲載されてあり 朝政以下建城に活動せる婴人 て中嗣された。南京政府の世 州祖人經營の書籍長に上海に 上海に 行に関する排日暦が多数絵 支那の惡ごい策 載して排日の思想を宜備の南京政府成立紀念日第一日 は五月九日の顧辱紀念

で刷てはしを一、ある販支で掲号五

DE UL

在熱河の廿萬

説のし

熱河は

支那の領

土に非ず出

自衛軍偽勇軍と改稱 軍ミ攻綱せんめ木格的抗の各軍に自じ何れる自衛軍 **所にして新少れは、魅烈は古地河省は乙を歴史的に取て一**

理的に観れば蒙古の一部にも なった疾瘍自の所能なりる課 なった疾瘍自の所能なりる課

掛外的反響を考慮した単良は 様の東北軍及魏河正規軍は現 様の東北軍及魏河正規軍は現

作に移るしめた

排日目的の

インチキ暦を販賣

は選世に始まりに報すると対ひ年 6。 萬里の長城即ち公復。 た一異城をなしてある。 又之 た一異城をなしてある。 又之 を人種的に観れは在住民は古 今四千甲泰蒙古人種の興亡副 が満人さは骨肉の関係ことあ れ漢人種ごは似時かの関係ことあ も人種である。現在熱河に在 は選世に始まり而も其の租 がけれごも彼等の移住したの は選世に始まり而も其の租 先

である。故に然何の主人会は である。故に然何の主人会は 同省の歴史的観察 時候さ見数すが至高である。 めくまで蒙古人で演人は依

本の英傑出で、蒙古民族を征 を 本の二大災患の一さして、北 のの英傑出で、愛古民族を促動した。 本の二大災患の一さして、北 のの一大災患の一さして、北 のが常に勝を示した。 別に 様返され、 南風常に接げ史以 本の二大災患の一さして、北 のが常に勝を示した。 別に 様返され、 南風常に接ば中。 北人が常に勝を示した。 別に 様返され、 南風常に接ば中。 北人が常に勝を示した。 別に 様返され、 南風常に接ば中。 北人が常に勝を示した。 別に 様返され、 南風常に接ば中。

その政治に干臭せず却つて満 いて選せず、土地人民を単 いて選せず、土地人民を単 以上の如く蒙古民族は淡氏族 護するの態度を持した。

にあつたさはいへ数年にして を解するのは錯覺でなければ を解するのは錯覺でなければ てめたもいで、之をもつて 古が演民族の統治下にあつ

おい個土ではない。

九日の委員會

未だ决定を見ず

更に日本ご折衝する

蒙古人種によつて蛋白の領域 雅観するに四千年來、 熱河は

をして「秦々亡す者は胡へ乗 ものがあり、遠に秦の始星 いで秦峰代には死に差しい

て事ら之が的務に弱めた。 似を攻めしめ長成を修復して東胡。何 大は以つて蒙古に既の戦力世界最大の工事だる長城の ひるに至つた始島は三十 十五ク司委員習は午員十一時十分開告、「タニチーヴル日教団也」和協が勤告が 近時半開催された 部會を特に早く切上け、年後 決定は見るに至ら中更に日本側さ折断するとさしなつた 次回の十九

せの組成を急いで居たが、略 るが。その金額約二千八百萬

▲范氏光氏(中東鐵路理事會 理事)十日午前八時以十分 でピン

本李柱林氏(中東鐵路管疆縣 是) 词上 和縣縣氏(中東鐵路管平)十日 和縣縣氏(中東鐵路管平)十日 中輸九時大連人 有數底底(古東國路院平)十日 中輸九時大連人 大陸八時三十分吉林へ 長) 同上 長) 同上 長) 同上 長) 同上 長) 同上 長) 同上 長) 一十日午後四時川分廟行 長) 九日午後四時川分廟行 長) 一十日午前八時今京 長) 一十日午前八時今京 長) 同上 長) 同上

調起草委員會は午後の軍縮幹(タユチーヴ九日發幽頭)九

十一日封切二日間晝夜公開 というのは湧かせて! をいすりの日來る!

一喜一の一

にものは か! 一多季前まで行ったとき呼び戻したものは か! 選一多季 蘭子 主演

H 特作

れ列
た
さ お菊ちや

長 春

県分野省投売ロー・を属すー 締結した即ち外学古禅倫より利用し内蒙古の本研學士 して直接赤路さ交がし北中組本素制策さして自己さ級成 解を得んさし叉薬保罕王をは本素制策さして自己さ級成 解を得んさし叉薬保罕王をは本素制策さして自己さ級成 解を得んさし叉薬保罕王をは

私は流花花の小部「寄年本」5

よくも、密易なこさださ感じの雌道布役に和役されてめる。 田一直線に布役されてめる。 田岳重叠、旅勢に變化ある地域

非酸では。

ひし、黄古の倩を催し、唐人一にれ悲かれ、人工の姉越に尽い 関々のたくすまい

第兵の決心さ意識。當時

にようわしいですね」 き吹け 動いで同となんて、師走…旅 ので見となんて、師走…旅

をんな「サビ」は前目一軒すってあるうが、 以今の處とは、總・かはりであり、謎の造りである、機か造りである。長春 さしての歴史沿革はあるか、 その間張順大が母間的な為に

密約を締結す

若い将校。それから下士。

れては、悪骸無量なるものとれないを陥らせ

京務特急列車「はさ」にて奉大十二月二十七日、午前九時板十二月二十七日、午前九時板

ね事であつたさ首背した、 いか、日本軍與し易しの念を検

同じ思慨はあらりがいよい

その歌喜

天晴れて、氣清く、黄色く枯 柳の林が鳴々に離黒く夢の様

社装重々しく砂塵を掲けて行いて、日草族を掲け、刀を革出は低く、風が寒い、郊外に

高級の避婚期野人。三千數 其の經過。状況を聽き。我が 類節機質所派遣員其の仲。體 係各位の勢苦を察し、感謝に 場えぬものがあつた 本さが用かせじたので、飛り で時ることにし、平前十時 で時ることにし、平前十時

会であるさ感ぜられた、e部 り新京で、また間まらず、田 りかあるか、新京は、名の祖

られて のる軍事 口動、準

委員台は

態を悲鳴せしめ、假りに軍事行動準備を以て更に

膜い原野を列車は、勢いよく

時は、演習では叫えた、嚴順 進する騎兵の一瞬に遭遇した に装載々しく砂塵を掲げて行

8 1.

た氣分に

庫倫北平間の鐵道

敷設を認む

よい東子を安心して買る店

現型草委員會は本日午後、 和新手段に属する別力を水和新手段に属する別でものないまでも、

国を記されて

岩甲祐寺、岩水照子

松竹共營

は中で決定次第。明田中にも の項に移つた場合酵明費を登 が松岡代設はこれに先立ち十 が松岡代設はこれに先立ち十 が松岡代設はこれに先立ち十 外國記者側に閉信を競者せん 合合し、十九ヶ崎委員に提出には、日本ののでは、十九ヶ崎委員会幹部終了後 師した。
は多り、何奴は否次勢力を収あり、何奴はあり、何奴は否次勢力を収める。 九國起草委員會 我案を受諾 第古地方では東胡強く其北 出すべき程告書の討論を概 足る。常緑熱河其他の内像大なるを想像せしむる 松岡代表所信を 開かる 几日午後 小役市村美津丁 熱河問題を説明諒幹を求めた 川次官よの糖盟影勢を報告。 川次官よの糖盟影勢を報告。 かであるさ が京神社に於ける紀元節祭式 回答を守ち即開される事さな「タユオーヴ九日教師等」次 分は、過段來大磯省主計局で 追加豫算中、漏洲事件以外の 「東京九日韓國中」 七年度の 嗣奏上——王莫奉莫——撤饌 (東京九日砂網通)陸軍で さなつて居る を除く 滿洲事件費 非公式軍事 參議官會議 一同彩列 紀元節祭の ケ國委員會 明显——直督 我が回答可同は注目の 追加豫算略决定 待ち即開 日本の回答を 一、傷病症扶助金士的五十萬百萬繼 工作 人事往來

米亞問題

0

百二十七人

圓山東川川森

中でも、もつごも肥沃ご云われてるる。同農場は吉教沿線の大韓路の手で進められてるる。同農場は吉教沿線の大韓路の

を有し日下賀菜都その他に許さして先づ試験的に鮮哉三十の 日々移住せしめんこする計器

子供とうざんが一番好き

ど希望

0

可出願中である

さして昨春華天に設けられた全議婦人間体制合員の一事業

ちの休憩所さして有意

先覺者大慰靈祭

紀元節日比谷で撃行

たる西郷南洲及び日支の

先際志士の大尉警察を一日の紀元節常日。午

間側体の日露線

大陸問題の大先

給料生活者

三十七人女一千二百九十人が四千百二十七人内男二千八百

人内男百六十一人女二十

けて居る新京署員中十七名に別なく、渓ぐましい努力を頼

下付する事ごなり、本十日午對し、興東長官より精勤総を

茶色鏡織的三個一着七十四組

組合組織

0

大農塲計畫起る

酮春九百一人內男

の名譽のる受賞者氏名は左の事より之が授與式行はれるこ

人職業別を見るご給料生活者
新京警察署管内の一日中の邦

新京署の

精勤證授與式

表戸を破壊し怪盗使人しコゲートの利果町二丁目課館が名の間に一旦の一条森昭、の三名合宿舎に八一年森昭、の三名合宿舎に八一年森昭、の三名合宿舎に八十年後三時から同四時の間に

総際運輸で規定の施行に属し が、新京署管内では るので之が業務は兵事係で撃 るので之が業務は兵事係で撃

が、一月末より荷不足ごなり 部の商品漁艇に従事してめた 部の商品漁艇に従事してめた

業者は全部失業し、頗る敝さ、ゲン節事支部長は彼等 、 白系器人には與へぬ悩

馬車業者は五十二名居り、自理在電城子在住の白素器人荷

蒲原に招聘された人である

博士は慶郎大學病院で手腕

斗力升 (三千二)白北八風) *

王竹吉坂川是伊阿優龍山坂林県 門原本村 澤那慶澤口本 知德 外 春知久岩長長清荒金

署長)に屆川でねばならの

(協職附続地に在りては錚察

氏名、勤務**即、勞務及給**與

へ管を命ぜられたろ被傭百

事を奪は

白系露人困窮

寛城子の荷馬車届さん達

蘇聯の壓迫加はる

いふすばらしい数字を示して斗力升(三千二白北八圓)さ

られた牛羊肉は、牛六十二頭居る。尚ほ神戸大連旅棚に送

羊肉は、牛六十二頭

満鐵祉宅に

きは其の事由

出中氏が嘱託さなつた今出

鐵病院婦人科醫長醫學博士今

頭、豚干五百八十二頭。 驚く の本年一月の新京附屬地市氏の本年一月の新京附屬地市氏の本年一月の新京附屬地市氏の本年の大十四

に決定

个出中博士

ペロリ

上り被情でに對し週知すべき ・保障法能行令、十一月五日 ・保障法能行令、十一月五日 ・保障法能行令、十一月五日

事項被儲べより雇傭者に對し

現狀に鑑み戸籍事務の創定連を前に控へ製売事業人熟河をを前に控へ製売事業人熟河を民政部地方司では越南一周年

四、戸口納査に闘する具体的に騙し之等事務慮班の能力及將來司能率

方法

一、戸口調査並に2等事務取 が施設機関の有無

傭品は左の事項を観 東長 育番畑すべき事項も規定し又履

京署阿務囑

お

月中に

和六年四月一日附法律弟五十入党者の職業保障に就では昭

のみ他は来だ提出してないま 情音が人登したる場合 雁储 石 は係員について承合すべきで

一、縣内の戸口調査に翻し之 た た た た

新京署兵事係から

一萬七千貫の

肉を

自營地さし、新京人に新鮮で土地を同世智所卒業生の農業土地を同世智所卒業生の農業

菜が安假に手に入るわけであが、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新な人の渇望してるた新鮮な野原人の渇望してるた新鮮な野原人の渇望してるた新鮮な野原の湯望してるた

野菜が食べれそう 公主頃の農業實習所長が **満鐵と目下交渉中** 買

京地方事務所土地係では整 上排下の申込殺到し、 カラニ十五人。女二人である、 カラ四人、女六人日傭労働者五人 四人、女六人日傭労働者五人 四人、女六人日傭労働者五人

地不足の祈柄さて

自出度さで、その内障左の組続計によれば四十名さいよお 脳地で、オギヤーさ生れて來補州総建國最初のお正月に附 出生死亡統計 支那人

亡くなつた氣の能な人通の数計は、気があると、気が、大量の数は、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が、大量の数が 解 鮮 人 女男女 四二三八七

か計 外 関人 男 三四名 八九八名名名

内地人 男 一片

日本人 男 n

くも新卒業生質込み運動を開始しつつあるが、昨日東京新始しつつあるが、昨日東京新始しつつあるが、昨日東京新始しつつあるが、昨日東京新校投長高田宗蔵氏は往訪の配 者に左の如く語ら 八営者の職業保障 国出で 全回講州城々都を中心さして

色オーバー着五十周その他服 卒業生の就 犯人搜查中

5

交列へル・ラフィン

当できるころん

4

校長來京 高田日露協會 軟弱

掃に

で居ら に就では毎年頃を痛め

職運動に

現在許減員を詮衡中で、右部を中心でする場合の登現をできるのが、 教訓書は 内に投けることもなつた でより有志はに於て考案中の とこう命々今日その智規を見 さこう命々今日その智規を見 さこう命を今日その智規を見 さこうのとのである。 で、右は で、右は で、右は で、右は で、右は で、右は

弱な傾向を一掃する目内居住者の間に見ら、 庭を期するため併で、日

0

さ、 平白い注文ご青年らしい

世 #

新聞雑誌を多く借へて欲 三九

卒資な感謝を表して居る

五、現在の食物の外有料のうさん。そばを希望す

前借踏倒し

傳染病一件

引揚げ終る

進少佐等の

の十万祭もの、緊然に狂った 夫婦が死の一か手輪まで行つ た時呼びさめられるさいふも 美津子主演結城一郎岩田站吉 者水絹子助演もの「残された

六。小供が豫山遊びに來ち事

を望む

=

市内森月町三丁日大七川宮崎 (七)は九日神然し西垣警師 の診断の結果デッテリヤミ制明した 中五孫道三公英優(九)は一 月三十一日軽易し西垣警師 の診断の結果八日猩紅熱さ

コレア

ダンスの會

るこで發見、今聽引揚りを完 (舘川九日登週刊) 遊離した

時局後援會

新京署へ五白国

Aに對する感想さ希望を投資 の民士二日六十八名がホー

三、楽器さラデオの段備を望って質ひ長いの九の九の一次で

七周六十銭を窃っ逃走ょた怪 、取倒べた電石は母犬省生 れ前科一犯银俊昇(二五)を判 のるを特京署員がはり逮伸 ののるを特京署員がはり逮伸

人を逮捕につさめてるる

格を保も春秋二回武道會を一日本及び全満各地さの連 開き段。級昇進の審職をな 一、本下ムの段置を有軽く感動して居ら者 一八八 湖して居ら者 一八八 湖して居ら者 一八八 湖に兵。除婆さん外世話 して臭れる婦人に何さかお 値をしたいさ思つて関る音 二。余り世話して臭れるので 気の毒に思ふ者 八六

宗道曾は正會目、準會員、

調助會員の別に分れて語る

四、小供が集るのでトテも面 白かつた者

しるこが甘かつた者五一 Ξ

突如新島頓見さるか

我海軍では車大視す

ショー翁

りだらう、抱へられて来た時

ひだらう、抱へられて来た時では古朝だけれき年は二十一の質、数年前、鵜めて抱へて来たのがポットへ減つて種ってるるのはこの技一人くらいだらう、抱へられて来た時

コース南に

れるさうである

タルは六時半新京會館は七 元節軽視ダンスの骨がキャ

子、阿波は徳島のうまれ、本名に

ハ白の金星

花

ルル横濱

省下 (五百回)を答を設すて金一封(五百回)を答を設め新京署に時局後後會のを設め新京署に時局後後會のを設め新京地に終て日本を設め新京場に時局後後會のという。

学染病院は 贈する事に決定し

は、六日午明十一時英朝の一人口増加に件上原派たる強拐 を、カナダ太平洋汽船目住の た、カナダ太平洋汽船目住の アムブレス、オヴ、アジヤ戦 新京犯罪数 一月中の 一月中の 一月中の

本洋上に長さ4里。「一十八分の太平洋上に長さ4里。」

を北位三十一度二十八分の太平洋上に長さ半哩。高さ十五 明の海陽にない島が出現。そ の中央に監吹されおるを發見 したが其島の船は注意されよ

人口増加に件上類案たる強窃 を事件は耐泉市民を戦慄をし めてるるか本日出來上つた本 年一月中新泉附屬地犯罪統計 は赤の如く例年間月の倍数に 近い。犯罪数を示してるる 犯罪数を示してるる

大阪商船に入電あつた 大阪商船に入電かつた 別府に入港する曾上海から別府に入港する曾

りますが、彼氏は果して何性は凶。九紫の人は音、三碧の人

女殿パーナード、ショウ「大阪九日経過過」イギリ

ス翁の

資。八臼の人さならば大吉。 大白の金星。相性は二黒。五

に入る

うだつた

二十八日別府

一萬坪工程三十萬圓

簡易宿泊所

してゲン支部長に動し不穏の 業者は全部失業し、頗る敵情 へ、白系裔人には與へね貧同 学浪者の数到日増しに多く、 沙浪者の数到日増しに多く、 **現在既に干名近いご見られて**

冬明間に於ける應命對策さし て十二月一日から極道北に西 領標では之に對し今 を收縮して

の質地検分を指し

領事館向側に新築 一本計一に行き緊急

館仙泥棒描はる

伝えが、催々二ヶ月を経過したに過ぎぬ今日既に七百世八名の宿泊申込あるに独しても 其の實情が充分に線知される 之は決して一時的現象で見る べきもので無く、今後登々量 がせんさする默認であり、こ のままでけば必然的に犯罪 のままでけば必然的に犯罪 田村秀雄方から銘仙一尺價格・七日午様大時頃市門日本精明・料 ト分から同署武道々場で来稽 たなつた、當日の出場選手はたなつた、當日の出場選手はたなった、當日の出場選手はたなった、「四五十人で内側道 が段者二十八人、柔道有段者 が段者二十八人、柔道有段者 す。本州寄贈の優勝メタルはなは終つて署員の散発変を獲

薬組員三名は行方不明

月限の閉鎖される運命にある 所では様々對策楽雄中である が、日下の簡易宿泊所は單に 今冬期の臨時的確較で乗る三

所を新築する事さなり、氏、所を新築する事さなり、氏、

九〇式二號飛行艇 館山冲で大破

年乳、養込めるA級 お何者で 中乳、養込めるA級 お何者で 韓心盟立進動の首慰・音天の 秘書金昭成コト金小成(盟)は 和書金昭成コト金小成(盟)は から五景新京に潜入した事實を 学出員新京に潜入した事實を 学上でハルビン機質館では直 に犯人取押へ方を新京機督事 に犯人取押へ方を新京機督事 を育る男 怪しい牛乳

も糾明に開起さなつて居る出來ない重大問題さ四東常局

城内にまた

十日は演藝全部を取替へるさ の事因に同一行は十日夜限り

首都警察廳犯

コースからは関力に飲り若 の場所はホノルル。精資川の

城镇一〇。 登場一、包海一、盗 城镇一〇。 登場一、包海一、盗

川思ろくを中さむする大一座 川思ろくを中さむする大一座 川思ろくを中さむする大一座 「村九日かり長春座で開演した

演藝だより

今月の運勢はさうですなり

でありますかし6

和京署では来る二十日から同 によこさになつた、何犬は何 主を知り得ねべき頭環义は牌 子を附すべしさ 野犬狩り

寒稽古納曾 九日午前零時頃新泉城内新市場水安湖回十一號料理店到和会(東3万の裏日を破頭し社)名。 祭統蝦盗が侵入し同家主人に衆統を突付け職幣、百四十八郎、春天票三百元、哈住二百五十元、唐出により新泉首都等緩線並に市内五等線は一部等緩線並に市内五等線は一部等緩線並に市内五等線は一 人逮捕に活動

では、 はし向それを参考に自分で考 はし向それを参考に自分で考 のでは、 されは一度類がに足らへに相 のである。 なし

体から云へば勇氣に誠質で押火カ来るこいふんですな、大

交渉は君に有利だ

川崎弘子問護二、 澤順子共演

七日十月正衛 安申問

二月十一日

氏破大戊土 けふの運勢

行よりならはなら勉べし

朝鮮獨立の

主魁秘書潜入

ある

・四縁の人 ・大白の人 ●七赤の人 ・五黄の人 ●二碧の人 三黒の人 ・一白の人 人引立てもわれご畝を受くるここも多し注図 ト分の自信を以て進むこのは何事も誤選す 内で戻さ変が吉 内で戻さ変が吉 大 気頭に振舞ふこさ勿れ質貞なれば引立あり 等で戻っ壬か吉 や事七分まで達し跡三分にて軽みあるの日 中・辛さ変が吉 が吉 ごも入るここも亦大なり も效果はその割に揺らぬ日

店員二名至急入用 年齢十七、八才ヨリ二十五、六才治身体肚体ニルテ市内=難實ナル保障ナル保障 殺人テ有スト者

●九紫の人

を以て進めば諸事領選すべし

您ひめりさる大体順調に深ぶ

・八白の人





明された 酵素療法の偉力 B 車 博士納野尚是

消化不良
老人性衰弱、重病恢復期に

トニー胃弱等に

常を根元から正調して、正規の機能に還元したことを實證するものである。

「智能過多症に用ひて鹽酸の分泌を中和し、減酸症に投與して鹽酸の分泌を使る。尚、胃酸過多症に用ひて鹽酸の分泌を中和し、減酸症に投與して鹽酸の分泌を促え、胃潰瘍と胃下垂に連續投與せしに、前者は徐くに潰瘍面の癒着を來し、後者は下至、弛緩せる胃筋穴を緊張し、遂に之等の難症をも治癒に導くは、「わかもと」の秀氏、食後の胃部重壓感を緩解して、腹部の水振音が解消し、食慾の漸進を示した。

「智徳過多症に用ひて鹽酸の分泌を中和し、減酸症に投與して鹽酸の分泌を促え、胃潰瘍と胃下垂に連續投與せしに、前者は徐くに潰瘍面の癒着を來し、後者は下、胃溃瘍と胃下垂に連續投與せしに、前者は徐くに潰瘍面の癒着を來し、後者は下、とびばないことを實證した。――即ち、之等の思著に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。――即ち、之等の思著に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。――即ち、之等の思著に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。――即ち、之等の思著に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證するものである。 腸虚弱症異常酸群、鼓腸、 12

関固なる常習便秘に

のみの服用を勘説してゐる。

殊に乳小見の膓疾患、緑便、粘便、便秘

かもと」の如き生物學的樂劑を投與することが最も適切であることを頑感する。かもと」の如き生物學的樂劑を投與することが最も適切であることを頑感する。特に、發音未完の乳小兒の傷胃には、化學樂劑にみるがれた。 この憂慮すべき乳小兒の傷疾患に「わかもと」を授與せるに、幾便、粘便、便秘、下痢は多く數目を出でずして輕快し、殊に人工榮養兒の哺育料中に「わかもと」を扱いすれば消化を助けて便を整へ、著しく發育を促進するに至るは既に吾かもと」を添加すれば消化を助けて便を整へ、著しく發育を促進するに至るは既に吾れの傷疾患たる下痢、便秘等が持續すれば必然、續發的に臟器の榮養並に新陳代謝小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の傷疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する。



發賣元 0 瓦入 育兒 0

水系ピヤ、エ買、カルカツ系、ラングーン、倫敦・ 東縣 大連、東天、長春、吉林、天津、哈爾賞、 一年、大連、東天、長春、吉林、天津、哈爾賞、 一年、大連、東天、長春、吉林、天津、哈爾賞、 接替東京一七〇〇巻

新

閉



規に対し最 條約中 中

代表部會で

我 一後四時から三 松田 世帯 一後四時から三 松田 世間 通り 松 對熱河立場を説明 何全権は

時重賞占協会請願者を開東軍司令官、在別京日本大使、新司令官、在別京日本大使、新司令官、在別京日本大使、新司令官、在別京日本大使、新司令官、在別京日本大使、新司令官、在別京日本大使、新田令國にきり重大である。これ本約甲の是非から離れる約甲に容喙するさいよより等ろ自己保存から出たことがある。

即するを恐れ武力を指るさ抗甲の手段を誘環聯盟が是

いふ体統的立場から蛙鳴蟬

めるに過ぎ

松岡全權誠意を披瀝

悪よ聯盟を脱退す

我が代表部一時間に亘り

對策に就き協議

理である熱河間蟹に入り、松町とは水野日中に送送すべして述べたが、會見の中心間 して述べたが、會見の中心間

人は一 べく決心し十日中に回答案を中堂々以對の態度を明かにす に関する回答は政権に請削せ 州九章七項即4

作成の上ドラモンド事務總長 調洲嶋の主流

さし、更に第四項

中

銀の特産買付は

、まで反對

安員を擧げ陳情す

田。出島の五氏が集けられた「致可決、管行委員さして水

其の他に頼し本副政府に報告直ちに十九ヶ副委員曹の評過 随して午後六時二十分散音後 に對する具体的態度につき協

総長と會見 一打戦する所あつた

質占の作につき番鞴。 民業を断断に開催された翻員會に終 観所に開催された翻員會に終

受諾されなかつた旨明かにして英調外相の勧告は、結局し、英調外相の勧告は、結局の監督を引用

代表部會制は九コ午後三時半

日本は熱河で珠更に戦闘の単に出づるものではないか最近単良が内政上から兵を設つて看過し難いの形勢は領別ので着過し難い

支那側の

和協の前途

一大暗影

さして一種の密約をなしたこの文は観点の道を講じ成は表演を脅かした等質様すると實際的根據はない次で英國は哪盟規約を建守するが故に和協の途を講じ成はを質しているが故に和協の途を講じました。

案を拒絶し「サンクション」 十九人委員會は日本の最後

ニングポスト紙

一萬大國關珠に美國は佐力和協に努力して居るが日本和協に努力して居るが日本即さしては外交術を離れて民意明、公岡全體は敢然こしてノンデャンズを列遠側に掲げて護らず、ドラモンド總長サイモン外相等は少い場合計算してある中の最に関が、結局解別こしては

りとより大なるはない りとより大なるはない 健康の根底に横はら支那の 無秩序。不安定及び軍閥の 常然の反動さして建設され 常然の反動さして建設され を欲する當め同盟を支持せ るは尤ものこさだ

か、日本の上海撤退の條件

を支持する代價さして

西蔵

即ち英級は日本の

诵洲政策

で終つた模様で第七項承諾不可能の別以を力設したものである。 我が回答の第一景楽は九日夜脱稿の連續された場合はその内容の処何により帰腹を脱逃すべしさいふに決定した。我が回答の第一景楽は九日夜脱稿第十五條第五項に基く紛爭事實並に之に属する同國の決定につき陣述者の起草に決し怠々第四項に攝る勸告書か避の魂勝なるを以つて慎重なるを要するご同時に我が文壇を中外に闡明する爲めコンミユニクを競技し聯盟規約の魂勝なるを以つて慎重なるを要するご同時に我が文壇を中外に闡明する爲めコンミユニクを競技し聯盟規約の環府奪輪に對する回答並に第四項で進む場合の對策を協議した結果回答は第四項にはす場合聯盟が責任組入のコチーヴ九日配品通過战代表部は九日午後五時三十分より同大時三十分まで一時間三十分に亘つて十九ク調委の終のの問題が

日本が脱退し

南洋統治權は日本に屬す

日本案に も修正希望か

華府ポスト紙正論をはく 委員會がその機同意す如きは 日支直接交涉論!!

したるものであるから假令 日本が聊盟を脱退しても明 盟はその委任を取止る様な 事はあるまい云々 お続長より我代表部へ傳送されたが、松岡代表は午後四時 五十分ドラセンド橋長を訪問 し改めて書前を以て回答する 定が針を繰り返するので十 である。尚其の回答内容は既は本調政府に請訓しない模様 プ間委員會の意見さ一致せ てあるが、それに関しては備 協交渉に移すべしさの論徳別 し、 備州網人間に衝動を奥へ し、 備州網人間に衝動を奥へ

人は人

八喜

確別の住民は積年の悪政から脱退する為に好機官を利用したので、現に建國以來財政々策も改善され雲政を施しつもある。英國は決して海國盟國日本さの戦争には少して海國盟國日本さの戦争には今日では一個一個の最近場別を表現を表現としむることさない。

西比利亞殿道で一世夜汽車 が遅れ憂鬱な旅を開けて來 たがハルピンに入り釈京に 到着して自然土道の光に沿 する様な氣がして旅の抜れ と施えた様に思ふ したには十日の夜行で南行

を発れ人民も亦

委員會に提出し指命を受けるが困難なるため厄に十九夕頃

(フシントン九日酸調油) 日本の聯盟脱退に伴ひ我が南洋要任統治地の時島が何は各方間の親藍を集めてるるがアメリカ副務省機関紙さんて有力なるアメトンボスト紙は八

日の社院に於て(日本の委任)
日本が帰盟を続け
日本が帰盟を脱退すれば委任を保留する権利を失ふべ
して一般に言はれるも右は

ボイコット

米國の對日急變は

あり得ない

事

我外務當局の觀測

雙更說も全然信じ得られぬさ 委員可より提出すべき研案を 國際商職に提案 果紛争解決に至れば軍事行動がある。即ち直接変渉の結

總長の書翰は

のがあるさ論じて居る のがあるさ論じて居る

のがあるさ給じて居

日端の関係は愈ら 穏交歩が不調には を楽ること

十九九九

九ケ國

してゐる

委員會に

誠意は殆んざ

解決案の作製に向はんさし を取すべき情勢にありリフ 失敗すべき情勢にありリフ 大戦を拒み和協の努力は を取すべき情勢にありリフ

日本を追ひ出せば満洲は混亂の巻き化し無政府狀態を現出し崇跡の蹂躙に委せる結果さなり之より大なる不幸不利はないではないか

「原順十日登回通」 施野協民政署長等の補充に律 ・ 大異動を寸日左の如く登渡し

2000年 2

關東廳餅分

オブペ 一士十七五三 ユ アス米 ナチラ 1110月月月月月月 第 線 ブルル トラテン印限限限限限 米 株

今更一步も退けぬ

務省は次の如くこれを否定的 を紛争に対する米製の態度に をが即き報道が傳へもれるに をつたか、これに関し我か外

する米観不承認原則を 作成しつとある動き決 に對し米國か非条式の に對し米國か非条式の

支那側の安協案ミ

我政府の回答

和協は結局絶望か

れ質就任さ共に進んで ト氏 は、アイスペット氏 の某有力上院請員

たの要旨を決定した。 ボイコフトの経験よりして、

かそる無責任なる条約は行
外務省は觀測してゐる
動取引をなしてゐる大脚は
・ 變更說も全然信じ得ら

許在せしめ且、實際上の通
・ 等の點から見れは米蔵

那側の安協案に関すら日本政一は九日午後二時ドラモンド事(タユマープ九日発・週)支一府の十九ヶ崎委員會の質問券 與へ、 廷ひては世界の平和を要で関係値民に最悪の影響を要で関係値民に最悪の影響を要で関係値民に最悪の影響を

責任逃れに

脱退の責任は

頑迷な聯盟にあり

形勢は愈々重大化す

遂に結論に達せず の任命を理事官に空任する事 の強定であるが、本日の問題 ないまが纏つたが、結局討 能に送せず、平侵士時三十分 を含した。向十一日平後の軍 を含した。向十一日平後の軍 を含した。向十一日平後の軍

全力をつくす 九日の起草委員會

-英國の論調-

の論調は左の如くであるの論調は左の如くである。政府機関紙並に右派ないが、政府機関紙並に右派ないが、政府機関紙並に右派を持ち 4 モン氏並にエテン氏が仲 協の努力一時失敗したこさ を表示したが、商多学の見 いなおに非ざりしを以てサ

の内「その後の一段情勢に関あるとしたも、十九ク競委員官 の内でもの後の一段情勢に関かられば、十九ク競委員官 のり 日本家を審議した結果、お次の内でもの後の一段情勢に関する。 聯盟の責任廻 和して」さある點についてり を承認するものご解するが如何き述べてあり、聯盟の責任 想遊館なる事は夙に帝國の責任

技部が昨年十一月廿一日以來 様の返してゐる所を免然無限 し依然愚辯する様な案に繼み 十九ヶ陽委員會に和協の誠意 は殆ご皆無であるさ云つて唐 長の熱河に関する質問が我代 問書さその代表たる事事務構 で表彰は十九ヶ崎委員者の質

對する 和協交渉に

各國は支那の 無秩序を充分認識 御厨嘱託語るー

各場代表は最近に至り中國 の無秩序業続額を充分認識 りもに至り、日本側の希望 に関ふべく線章をもつてい のが表現の希望 北の北京市場の列立の社長

我提案は最後的 松岡代表語る

西務系庶務課長を命事。 「通務局国事官 職役人古 「職務局国事官 職役人古 「職務局国事官 職役人古 木豆 雜栗 大斯京 發送貨物 九日新京驛 豆 三二八〇〇

> 謝近火御見舞 親馬五丁以

千葉修一爾店精光所 十四香地

合計其水雜大吉計其木豆大中計其 計 做材製豆粉 他目拍豆腐 他 九九〇二 三人 九七八〇 第一回 10 ▲上海紐育向
◆阪神日米爲替
一門・北京の分 ▲上海日本向 室園 ▲上海倫敦向

取調中である 取調中である 全燒 氣温さ天氣 一戶 鐘鐘大大 -

天氣西北の風晴れ十一度三十日の氣温最高等。十二度三 錢豆五 東鐘大 大連株式 10000

カモフラージ、された非もなく不可もない程はの決論 に達するのではあるまいか と過ぎを観は霧府にあつても 其公明主大淡日卒直の貢酵 である。 である。 である。 である。 である。 ではあるまいか である。 ではあるまいか である。 ではあるまいか である。 ではあるまいか

電話護受せたし

相普爾店民政署是 直元 啓

補物務局保安課長 金井温治

最外田龍喜

稱繼子窩氏政署長

寄安高昨

TⅢの代金引換小荷物を新京市内日本機通日之出小間物衙 では十日、日之出酶を呼出しては十日、日之出酶を呼出し

正義團で

第三回宣誓々

华病人

何柱國は

店では三十五圓度したと頑慢にでは三十五圓度したが、右日之出廊の野便島では右の事實を使見 ウガル荷物を手渡した。その 日が誤って三十五銭を受け収 の際郵便器 遂に一版京署に居 新京警察署では時近居住者の 間に行はれる類母子講に就い て調査中であるが之が極端な も運用け却つて無産階級を苦 しめら結果さなるので之が歴 能安雷なる取締對策を考究中 である 取締對策 新京署で考究中

金の式を単行することに決し を関する。 の式を単行することに決し を の式を単行することに決し を の式を単行することに決し

支那兵がまた

伊太利兵を射撃す

十月二年八和昭

線鐵橋破壞

鬼を賣つた金で キングを贈る

では日本軍用鐵道による進撃 を強制するため、北海線沙河 を牽制するため、北海線沙河 を牽制するため、北海線沙河

会のは、イタリー兵は之の ・ はの地域の地域の ・ はの地域の ・ はの ・ はの

中だが先月初旬にも中國兵の 部件があり、再び斯くの如き 総がに出た中國兵の不被軍に がして張量存住の各國駐屯軍 がの結果北平外交團に本事件 がの結果北平外交團に本事件

建調一周年記念を明し協和會(頼京十日調通)三月一日の

日まで受付

(錦州十日登城湖) 僅かキング一册に使つて在錦州〇川智下の株兵を原放せしめたさ云本師、一、それは十歳に成らない小學見童か懸命に育て上けた可愛い・兎を覆つてキンけた可愛い・兎を覆つてキン 涙ぐましい少年

手がイタリー兵なるを 交戦約卅分の伊、中國

かの後、中間氏も引

に題射した以めイタリー兵〇

特務部内へ

日午前引起しを丁した 務省出張自語所は監報新京取引所内にあつた

支那軍の不法通過に

議文發送

語をなしたが、

匪賊商賣も

りの新京が

年貢の納め時 司令部附 討伐狀况報告に來京し 堀内少將語る

の論戦の後、取り敢えや現在 村常の距りがあつた機能を健排し署らざ おこさを明摘し襲力の意見に おこさを明摘し襲力の意見に おいか かんかん かんがい 数次の論戦の後、取り敢えや現在

不法に掠撃されたものださ取が料率いく代の相较ヤナギは

安係へ黒日をつ

新京に店を出 いたが應じないのださ取 に店の間間がある

「新京十日國油」去る一月世 一日遼河地區の匪賊討伐に出 動、同方頭の膨賊を一掃し、 職酬副軍のみの討伐に大成功 を收め、本月七日奉天に凱旋 した于芷山軍司令部附堀内少 第二軍司令

た鬼二匹を賣る事に相談が た鬼二匹を賣る事に相談が

を一匹買つて育てて売りま も色のベルデャンで云ふ兎 も色のベルデャンで云ふ兎

供は一年生の時から鬼 何つて育てで居りまし

で丁いました、肉は受持の

竹先牛が豆腐さ忽さで

情報部盤で施行した、特察官幹部養成試驗筆配に合格した、新京署員は左の如くであた。新京署員は左の如くであた。新京署員は左の如くであた。新京署員は左の如くであた。新京署員は左の如くである豊平熊男、澤田石岩三郎、西條磯七、池水喜一、北村会 合格者 現在の儘延期

「錦州九日秋崎派」凌娘より 南下しつつあった保徳金の指揮する第十九腹軍主カー線は 標する第十九腹軍主カー線は が年前五時候中より吉野大尉 の指揮する○個○解は之が救 でに出動した。商は興難を受 がた南部落は戦火に見舞は が火災を起し黒煙天に神してゐ

で居たもので、問題の製路は ・ 大学取石川シケ(一八)は去年 の春父親八重治が重病に罹り を敬くしたが宇命だつたさみ が身を使つて買いだ金で療養 が身を使つて買いだ金で療養 が身を使つて買いだ金で療養

松花江

の橋脚

地盤が弛んで大狼狽

を を を を したが 定命だつた さる とたった 或目のここ 死に となってしまった。 哲 となってしまった。 哲 となってしまった。 哲

「ハルピン十日酸酸剂」洪水で危險に瀕したか應急修理で小康を見てあた松花江鐵橋は小康を見てあた松花江鐵橋は一年

沈トし、傾斜し始めたので東 磁では大いに狼狽し地壁に石 でな大いに狼狽し地壁に石

新京四馬路の8新会司では今度。 検血製織房のコークスー 手販賞を始めたが、火力は強 実庭向殊に廉敷用ストープな 会には針通。一順十一間五十 会には針通。一順十一間五十 さには針通。一順十一間五十 されば前の必要なく

ます。ごうか御覧下さい。 號の結果面白い水を買つて 鉄の結果面白い水を買つて

おた金で何をしようかさ相ばなつて育てた鬼から生れなって育てた鬼から生

の如く語つた

四角地帯討伐に就て記者に左に報告のため本日來京したが

幹部試驗

吉野大尉ら

料亭を営ん

…の云ひ分である。果してごん な裁決が異へられるか同業者

力日午後六時から。料亭松屋街支票) 菱飯島四平街署長は

飯島署長招宴 (四年

夕の清宴を張つた

日新公司の

鞍山コークス

」超部下十七名 ルピンに着く

大新より自動車にてハルビン 下十七名は昨八日午後元時佳 下十七名は昨八日午後元時佳

まく切扱け

にのイラン九日登詞師 W平 にハイラン九日登詞師 別事 に同位し、市民活潑ごなりつ つあるが、一時遊離して居つ た市民も競々縁楽し、二月上 に同位し、市民活潑ごなりつ

第大妄ぶの重物でなかつた 寛里の長城は決して支那の でなかった

イラコ

「上海九日發展前」上海特別 関語は法院協定は来る四月前 明さなるので英観条使ランプ ツン氏及び北平より南下した 和職条使ソロベフク氏は南京

胡蘆島へ軍艦派遣に 府の説明

楽洲島に属するものさして軍 平資本日常地支那会使館への 平資本日常地支那会使館への 唯一の軍港での理由さして 流島は満州協 大脅威できる事が挙げて居るに残す事は前洲観に取って一

経養職務京支部では十一日が ので午後六時半から室町小 ので午後六時半から室町小 ので午後六時半から室町小 ので午後六時半から室町小 ので午後六時半から室町小 のでで後六時半から室町小 のでではる向上 マを叫き ではるではなった。 画

修養團で開く

一防真子 ご接着した 教育での一石二鳥の方法に 松育での一石二鳥の方法に 大勢の となった。 ・ になった果 結晶外蔵の

下を失くこさ

り、民政部市政公

観る面會し、彼の名刺を賞ひら節を開発した。彼の名刺を賞ひら節を開発したのった元北寧戦の山海縣十日後端通り何柱調 本要監督のない。 本要監督のない。 をはかくる事態を惹起せしめ でに国い解決をなし得たのに 非常に残念だ、現在郷良は山 の力では到底不可能だ。 交別であるが現在 の力では到底不可能だ。 でのはできない。 の力では到底不可能だ。 の力では可能だ。 の力では可能だ。 の力では可能だ。 の力では可能だ。 の力では可能だ。 の力では可能だ。 の力では可能だ。 の方であるが現在

した

るこさは不可 部的勢力を解放 結りを持ち人 能なことだ 日本軍に抵抗

に各方面に寄附勤終中である お客解は一般人の好意をも受。 お客解は一般人の好意をも受。

か行はれる事さなり氏に且り新示城内の費べ

午後一時から四年街小學校北「四年街支輸」発紀元節富日

四平街氷滑大會

吳佩字も

南下を拒絕す

詩の勸告効なし

年貢の納め時ださ氣付

部下を率ひて八日轍江に到着河に駐屯すべく張泰遜廟長は

に着く 一十一

建國後最初

日本領事會議

たが、遠に向下拒絶を表明。 名方面から顧る注目されてる

着任した田邊漏洲國参議と ので明かな話題さなつてこ

本日だの如く其の理由を鞭表

れたが、いづれも担遇した、介石の南下勧告しきりに行は

「以來源、閻郷に耐しても蒋

大得食……だがこれこも

曾議の結果注目さる

病友達の答明に依つてゐる 生活費二萬元は北平に在る

精肉販賣者

しやうにも此の仕来に

しやっきて解散を肯じない 自分には衣袍生死を共に

同智見をし

大阪回で新泉紀者協會与

午後五時からヤマト

謝總長令弟

寄附 同情週間に五百圓

粥寄附の施

下するのは危を避け安きに取って人後に落ちないつも

支に萬一のこさあらば戈を

一、自分はまだ六十歳だ。 北はむを潔しさしないし、南 はむを潔しさしないし、南

現城子に牛ベスト酸性に纏み

新京署が

牛ペストに鑑み

おさいふ一事所得の おさいふ一事所得の おさいふ一事所得の をしている一事所得の をしている。

質切すれる

に行つた筈の女が

織の嫁が傳へられてゐるそ、山東省で自分が備週軍組

施灸期間

新京祝町 太子堂 二月十五日まで 七日間

七日間

靈灸名家

森

丸太郎翁來京

の難病者の大福音

な太太郎

附くの嫌ひがある

銃强盜

藝妓稼ぎどは

料亭三杉といく代を巡り

妙ない

ざこざが起る

この遺言だつたから つた管のシグを鼓見し吃鰯し いく代の主人の悪が三杉方を 料亭を開業してゐた。 関商質な は 訪れ費はシグは自分の姪で兄 り先。いく代も樺太を引拂つ は 訪れ費はシグは自分の姪で兄 り先。いく代も樺太を引拂つ は 訪れ費はシグは自分の姪で兄 り先。いく代も樺太を引拂つ は おれ費はシグは自分の姪で兄 りた。いく代も樺太を引拂つ は おれ り先、いく代も棒太を引拂つりに開楽してめた、間部質なりに開楽してめた、間部質なので顔を出すさそこに縁に行った等のシグを破見し吃験しているくく珠ペで見るさ様にかつたさはまつかな斯り、横川へ連れて来るためシグの叔川へ連れて来るためシグの叔川へ連れて来るためシグの叔 管大将路署では署員を召集非 でより断京首都警察職を初所により断京首都警察職を初所によりを居出 東田家四大院三九為傳三(五九日午後九時頃新京大經路消

出すラブレターを眺め景嘆

四平街校拜賀式を乗校職堂にて紀元前拜賀式を乗校職堂にて紀元前拜賀式を乗行する 常級を張り犯人捜査中で

て日く「このオデュ 6

すだが自分さは何趣観係か 古凶禍福 男禰洲男一月三十日午前一 ▲市内東一條建五十 經二女京子一日午後十一時 時出生

がさせ

暖島工

長春鐵工

自動車修繕 取次電話二六四八番 東三條通六十番

一日村 の湧 オールト 日か 一日間晝夜公開 來せるて

たらのは何か! 一多手前まで行ったとき呼び戻し 一場 明子 主演 十五卷

松竹蒲 H 特作

れ残さ お菊ちや

天才小役市村美津子 主演 松竹共營 長

る以集子を安心に 曹

1000

▲ せんなこごを思ふさ、愛す でき子供達のために、我々は この達詰の編輯者に充分の感 供をもつ豪庭でもこれらの良 供をもつ豪庭でもこれらの良

時局後援會

ます

紀

元

節

奉

祝

舞

踏

催

月

+

H

午

後

六

時

华

b

て頂きたいものであ

幼年俱樂部

滿洲國本曆

しの生命線よ」て

) 遺物の優れたものが知年俱楽部には、いつ

現の多いに

に最地酸やである。 組合青年風袖智學校論學校、 在野軍人會其如一般母氏に必

(東京市澁谷區代木町上原一 〇九八)

(機替申录四七七六)

意識語を従いて、断然治

制定佈告

[可應於使素相三和]

「の女學生はなぜ」

お裁縫が嫌び

家庭や學校でごう注意すれば

隊政以長地財培元氣以固國 壓所定各供職事學股無逸修

石――さいふ韶特爆突物を動本一平「それごらん」大泉黒

・相當なものであ

のやうに明るく登んだ雑誌で供の鑑誌こしては、一点の悪

本有厚坚焉以此

國務總理

照シリ・リ

茶屋」角兵衞」なごの落語さ 「人生初年長」を初め「馬子 「人生初年長」を初め「馬子

で、編輯者の労心が思はれまで、編輯者の労心が思はれまった。 のお調」も効率讀者に真、ン 向きな、意心たつぶり、無邪 の中に愉快権まる漫酷前ひ

州では腹を抱へた位ではかっ

トテモ朋か

爆笑、哄笑の爆弾

こさは、現代の青少 国行、苦學大成した

口心事、競物にも厳選主義が充分に徹底してめるのは、か充分に徹底してめるのは、この雑誌のためにも全観の幼年受賞者のためにも全観の幼年受賞者のためにも全観の幼年受賞者のためにも全観の幼年受賞者のためにも登観の対象には、第四次を対している。

不順

二月十

日

午

後

七

時

b

紀

祝奉

踏

會

電三八〇六番

三盛町二丁目十七

元

節

奉

祝

大舞踏

會を

催

す

松岡洋右氏が十三歳

口心事。簇物にも厳

年をいたく刺戟して

以資歲功茲造大同一年時 數以正禮俗序啓開時令之節 **合地參廠屯債大街五行之** 自取法陽歷推步训賽順天米

記」查田前「詩樹特代色」川

この特徴「新婚週中日

警察随 國內 凡 找 國人其關

申三月一日發與伊始紀元大於此維北大磷洲國以論次王

以來立國大腳齊民大法真重

告朔と與所以快敘五禮三古 | 「護之政所以允釐白丁建止 | を歴敬授人専卓ペ光・寅寅

同旦姓是中律中夾種乃形是

●のの)の値に●ユーモア愉しこか。この愉快な讀物(み

香の御機嫌を取結んでめる。

明かな中ことで、内容が一般はしてゐるやうに、内容が一般の種場に乗び三月就は、表

好きになれるか

鍋科門 多 3

どろき

電話三九三六番

支本店

天連

17伊

田勢

話京

出町

=

Ξ T

八目

- H.

あんこなべ

白菜なべ。 水炊。はまなべ。ねぎま

平前の苦は一時のこご午後は帰さなるべし

の八日の人。

七赤の人

ゆきさん――は昭和五年春事務員さして活躍する立図 こさは見逃するこさの出来ない事質である。今や新京だけでも五十余名の同校出身者かきなショックを興へた。その結果は職業へ職業へご勇闘する彼女適か観かに殖えて來た会被女達の就職熱が勃然さして起つて來た。新京 高女が昭和三年初めて第一回卒業生を婚人の職業戦線が擴かってゆく…… こ首都新京も事變以来、異狀なる發展につれて若

院にタイピスご衆

女の身さして何か自分に仕事

いさ望んではるたのですじれ

だる。これはことはやっのない嬉しの気持、それこそはんさに何の気持、それこそはんさに何いる。 これは

●五黄の→

外事にのみ熱中するこか

の四線の人

丁さ灰さ受か者

の三碧の人

れば何事も順調に運び行べし

・二馬の人

計画のみ大にして登職の之れに伴ばざる日 原で辛を受か吉 しま変き玉が古 しま変き玉が古

滿洲金物點新京出張所

●一白の人

●六白の−

領の娘さんである

兩親を助けて

ぜひ妹さん

く、職業婦人さして驚ましい進出振りを見せてゐる。

いまその主なる彼女

仕事が自分の

それ程の時間もなけれ

う思つて一生懸命になられるが、

職業婦人をたづねて……?

ないやうにするこさが肝

仕事がてきばき

この毎は現今忙しく家に問

通常の人が無かつた党めで最後に出た理由は此れを終

十月七月

日八十月正新

房危赤己日

一月十二日

口恆曜

けるの運勢

つて深ぐ街頭目ざ

を讀む

出來てゆく朗かさ

口……この氣持を世間の皆様へ

けだいさ思つてる。

一番先に出る質の農民資本が 最後に出た理由は此れを書く る。理論さ實際ご用方に詳し い人でなければ書けないので あるが著者は此點から見て日 本一の適任者である、著者が を開いまする。著者が を開いまする。

い職業を選びたひご思つてるかでは、が出

隣្級新京醫院・立園みゆきさん

少しは種へ

た二時間さか、せ種の時間さいふのは ではさいふ

でせうか。さいふのは、小事中分は父家庭の責任ではな は、ごうかと若物を若 大人子 大人子 大人子 大人子 大人子 大人子 大人子 大人の生活に駄菓子 大供の健康や競育によい結果 を齎さないばかりでなく却つ て食慾を減殺して桑養不良に 絡らしめるここが多いのです これは取菓子の中に含まれて 養榮の供子 ひから 駄菓子の買喰

は郷校の責任でせるが、年 この家庭で で困るさい 事校を出て時間がされるやう になつた所で、實際に仕立て るさいふやうにすれば必ず、 でである。 ではなかが、 ででである。 でではないででである。 でではないではないでである。 でではないではないではないではないである。 でではないではないではないではないではないである。 ではないないではないではないではないではないではないではないである。 興 てみるやうになるそこで だけは持つ うになる

はなさいつでも一番多いのは 他分。それから殿粉なごでカ のですから。そり め食事が程と を來たし榮養不良になる處が た分あるのです。勿論駄菓子 そのものも淨北の點から又不 親さいふ點から、子供によく ないさいふこさは一般に知ら 供に最も必要な蛋白質の不足が、それでは発育盛りの子ではましまる際ですりーを疑ってしまる際ですが、それでは発育盛りの子では、それでは発育感りの子 出来るだけ駄菓子の質食ひ供の健康を希よ家庭の人選 魔をする點をよく考へて、子をしまりますが、他の乗業を振るのに邪させることが出来ないものできせることが出来ないものできせることが出来ないものできますが、一銭、二 させることが出来ないもの 令ノ命ヲ序シテ以テ議功ニ資験ラ参シ東ニ大衍五行ノ数ヲ 阜成ス、寅賓寅銭ノ政ハ百工治メ敬テ人ニ時ラ段ク兆氏ラ 紀ス、日ハ星中ニ建チ律ハ爽以テ盛興伊レ始メ元ヲ大同ト 此ョリ策キハナシ、維レ我カ古以外立刻ノ大經貿氏ノ大法 ニ組フラ台ラ求ノ地ニファ 大協洲國龍次王申三月一日ラ 典ハ五禮ヲ秩紋スル所以、三ヲ允釐スル所以、三 推步測度シ

つ氏が、美はしい季心の特主一見品絡な東洋的な肌はをも

てゐるが。 ぶり、は非常に快よいものを 手供達に親切で行居いた注意 編輯者の手に入つだ総質ぶり せるこで請合です 機尾總三郎氏著

新泉后八、一五二ユース氣象新泉后八、四五二ユース氣象新泉后八、四五二ユース氣象中央次送前編輝及ブロダー中央次送前編輝 新京局七、三〇ニュース(朝 新京局七、四五ニュース(露 西亞語) 奉天启五、〇〇レコード銭行奉天启五、〇〇レコード銭行奉天启五、四〇講演未定率天启五、四〇講演未定率天启五、四〇講演未定率天启五、四〇講演未定中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯

ダ

電話三七三七番語 會

建築金物専門の店を開きました 警察と消防隊の中間